



じんけんを「他人ごと」から「自分ごと」へ

OYAOYA 通信

学びのホームグラウンド じんけん楽習塾

1回目報告/

5月16日「じんけんあるある～自分ごととして考えよう～」森実さん (大阪教育大学・じんけん楽習塾)

みなさん、2018年度のじんけん楽習塾

がはじまりました。1回目の参加者は35名でした。最初に「やおぶりずむほーる」の文字でルールをグループで出し合いました。

以下です。



やさしい気持ちでお互いを尊重 / オールOK / プリーズ / リラックスすれば理加が深まる / ズッパッとOK ずっとOK ずっと考えても思いつかない時はパスOK / 無理をせずみんな楽しく学びましょう / ほったらかしにしない / うそいつわりはなし / 類のない時に使用 / 守秘/

じんけんあるある

私たちは自分でも気づかないうちに人を傷つけ、人権侵害をしているかもしれません。そのことに劇をつくったり演じたりして、考えました。

まず森さんからの事例紹介です。部落問題を訴えながらセクハラ発言の多い講師。だれだれの奥さんと言われること。日本人に生まれてよかった発言など5つの事例紹介の紹介がありました。

9つのグループで そんな人権あるあるがないか話し合い、寸劇をつくりました。次のような劇がありました。

*PTAの総会の委任状に夫の名前を書く人が多いが、自分(母)の名前を書いた。教員がそれを見てシングルマザーの家庭だと思った。

*書類の性別欄に男女のどちらでもないの、真ん中に○を記入。/ホテルで在日コリアンが本名で宿泊予約するとパスポートの提示をもとめら



れ、生まれ育ったというが、本人確認を求められる。

*レストランで注文を車イスの本人でなく、介助者にたずねる店員 / 八尾では車イスで入れる店が少ない

*女性の新人には結婚してやめるからと資格をとらせない。

*日本国籍者は見かけや日本語ができてあたりまえと判断される。

*学校での「父兄」の方と呼ばれる保護者

*参政権の無いこ

とをお互いに隠していたカップル

*選挙の話になり、その話題は僕には関係ないしという友人。

*学校で部落差別について学んだと子どもが夕食で家族に言うとう家族の反応で、言うてはいけないことと感じる。

ともすれば、もしいやんとあきらめてしまうこともおおいなあと感じました。今回はこんなことない？という紹介で終わりましたが、今度はその解決や

どうしたらよかったかを話したいなあと思いました。

(文責 李)



連絡

もし参加者の皆さんで宣伝したいチラシ等ありましたら、ご持参ください。おなががすぐ時間なのでおにぎり、パンなどの軽食はOKです。毎回ふりかえり用紙をくばります。後でメールファックスでもいいので送ってください。お願いします。通信に反映させたいと思います。(公開だめなものはオープンにしません)

写真を撮影しますが、OYAOYA通信、八尾市人権協会のホームページなどで使用する場合があります。なるべく個人が特定しにくいものをご考えていますが、困るという方は事務局にもうしつけください。

9時には終了予定ですが、どうしても延長になる場合があります。急がれる方は先に退席してください。じんけん楽習塾が終わってから、簡単な懇親会を毎回予定しています。終了時に声をかけますので、参加可能な方は会場に残ってください。お店等お知らせします。

★★★★★ みんなの感想 ★★★★★

- ◆各グループの劇を見るなかで、あれもこれもと「あるある」が頭に浮かんできました。常に人権感覚を磨き続けていかないとならなと思いました。(しみちゃん)
- ◆人権あるある…話せば話すほどでてくるのですね。選挙権のことや保護者欄の記入の仕方、車イスのことなど。日頃はあきらめてしまうことも、人と話すことで怒っていいと再確認できてよかったです。
- ◆思いつくこといっぱいありました。でも自分もしてるかもしれないとも思いました。アンテナを立てて生きること大事！と思いました。
- ◆様々な方の体験を聞くことができてよかったです。～のおかあさんというのは何気なく使ってしまいそうと思った。
- ◆いろんなあるある体験にうなずいて変わっていくように意識するだけでもしていきたいなあと思いました。みんなで広がっていいなあーと楽しく参加できました。
- ◆人権あるあるはいろんなことがあると気づかされました。学び、意見交流で考えることができました。
- ◆～略～無意識のうちに人を傷つける場面を感じたり、今でもそんなこと言ってるんやとか思う場面には驚きを感じました。いずれにしても日常の中で人を傷つける場面が存在し、あらためて人を大切にしなければならぬと再認識しました。
- ◆「人権あるある」参加者の演劇ワークショップ、とてもわかりやすかった。
- ◆知らず知らずに他人を傷つけてしまっていたかなと考える機会になりました。
- ◆「寝た子をおこすな」で劇をつくりました。知ることで、また、差別を継承してしまうのではないかという意見もありました。でも、各グループの発表をみて、まだまだ自分でも気づかないでいる差別や偏見があるという事を再認識。「寝た子」は本当は“寝ていない”…!? そんな話もできて有意義な時間でした。(くもんりりこ)
- ◆他のグループの発表を見てあるあるがたくさんありました。でも考えすぎて、何も言えなくなることもあって、話題にできないこともあります。その後どうしたらよかったか一緒に考えたいです。

- ◆車イスに乗っていて普段感じている嫌な思いをいくつか吐き出せることができてよかった。他の人の感じているあるあるを知ることが出来て良かった。(阪本)
- ◆それぞれの経験を語り合うことができ、たくさんの気づきのある時間になった。教師ばかりの場ではなく、多用な立場の人と語り合うことができて有意義だった。
- ◆演劇ワークショップは初めてでしたが、みなさんが経験したことなどを知ることができ、とてもよい経験になりました。まだまだいろいろなことが日常であるのだなとまなびました。
- ◆今後「氏名」は使用せず、「名前」を使用したいと考えています。
- ◆パンやおにぎりを食べてもいいですよや、退室も可能ですよと冒頭の説明があり、驚いたと同時に緊張がほどけました。とても、リラックスして受講することが出来ました。はじまる前は21時まで集中がもつかわかりませんでした。短く感じたほど濃い時間になりました。次回も楽しみです。
- ◆外国人のルーツ、名前、障がいなどについて、危ない発言をしている事に気づいていない場面が案外とあることを知る機会になったので有意義な時間でした。
- ◆語らなければならないことが多くあるということは、それだけ人権が守られてないということであり、その経験を聞かせて頂くということは、人権が守られていないのはなぜかを考え、その一端を担っているのは自分だと振り返らなければならないと強く思いました。言論の自由とは何か。この楽習塾のように自らの経験や考えを命の危険なく語ることができる。そのような場が言論の自由が保障されている場であり、また、そのような場だからこそ私たちは過ごしやすいのではないかと考えさせられました。肩の力を抜ける、本当に楽しい時間を久しぶりに過ごすことができました。ありがとうございました。(KE-KO)

- ・むずかしい そんなことない たのしいよ★
- ・気付くこと 経験したら やめられない(字余り)
- ・おかしいなあ 一度気付けば 次々と

